

ASIRU —アシル—

令和5年10月6日発行 第20号



第1回 ASIRU Online Program

9月21日(木)に第1回 ASIRU Online Program を開催しました。本研修会では、事前に視聴いただいた、Google for Education「子どもの主体的な学びを実現する中学校でのクラウド活用」を踏まえ、自校でどのように1人1台端末の活用による個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図っていくかについて交流をしました。本号では、研修の様子や、今後のASIRU Online Programの実施予定について紹介します。

事前視聴動画 Google for Education「子どもの主体的な学びを実現する中学校でのクラウド活用」

本動画は、愛知県春日井市立高森台中学校の実践を紹介したものです。端末を使った勉強の仕方、学び方を教えているのが特徴です。アウトプットを前提とした学び方の実践や子どもが学習内容を選択し自分で学んでいく授業づくりなど、一人一人に合った学びの実践が紹介されています。また、様々な教科におけるクラウドを活用した授業についても紹介されています。



動画 QR コード

交流の様子とまとめ

交流で出された意見等について紹介します。

【交流から】

- ・自校においては、**1人1台端末を活用した授業改善の推進**を図るため、例えば、校内研修において教員が端末を活用し、ジャムボードで意見を交流するなど、**日常的に教員が端末を活用した取組**を行っている。
- ・中学校までどのような**情報活用能力を育むのかについて明確にする**ため、指標が必要であると感じた。
- ・学びたいという先生が多い反面、活用を苦手としている先生もいる。**最低限の活用方法について学校全体で共有**することで、学校として成長していけるのではないかと。
- ・端末を使った授業を毎日実践していきたいと考えている。ロイロノートやジャムボード等を積極的に活用し、実践を積み重ねていきたい。

【まとめ】

これからの時代においては、**求められている資質・能力が変化**しており、学校教育においても子ども**一人一人の多様性に**応じた**授業スタイルに変わる必要**があります。各学校においては、学習指導要領、令和3年1月に示された中教審答申を踏まえ、**自立的に学び続ける学習者の育成**に向けて、**1人1台端末を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実**に向けた**授業改善**をお願いいたします。

受講者アンケートから

- ・児童に身に付けさせたい資質・能力に合わせて授業改善を図りたい。特に、ICTの活用が、児童が主体的に学ぶために有効だという認識を教員間で共有していきたい。
- ・少人数の学校においても、児童が協働的な学びの良さを実感できるように、他校との授業交流や遠隔授業を充実させたい。
- ・情報活用能力を系統的に身に付けさせるために、取組の検証改善サイクルを確立するための組織づくりを推進していきたい。

今後の ASIRU Online Program の実施日と内容

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 第2回 (10月19日 (木)) | 「令和の日本型教育について」 |
| 第3回 (11月17日 (金)) | 「指導と評価の一体化について (中学校数学)」 |
| 第4回 (12月21日 (木)) | 「カリキュラム・マネジメントについて」 |
| 第5回 (1月18日 (木)) | 「特別支援教育について」 |
| 第6回 (2月15日 (木)) | 「学校組織力の向上に向けて」 |

右のQRコードから申込ください。



<義務教育指導班からお知らせ>

ASIRU Online Program は、日常の悩みを交流したり、先生方のネットワークを広げたりする場として活用していますので、積極的な参加を期待しています。質問等がある場合は担当までお問い合わせください。

(担当：指導主事 平林 0154-43-9283)